

## 大自然一杯のレジャー基地構想

海・山を中心として自然の大切さを学び、自然との共存を図る。行政への軽い負担で九州が自然環境文化の発信基地となれないか。更に、河川への船舶の不法係留を解消して防災に役立てられないのだろうか。

私は山が大好きな勤め人です。北アルプス、南アルプス、富士山などをはじめ、九州の山々の縦走を楽しんでおります。山だけではなく、魚釣りボート遊びなど自然と対峙するスポーツ、レジャーが大好きなのです。

自然相手のスポーツは自然に対する謙虚さ、自分自身の経験による判断が安全と感動に直結するのです。四季を通じて山に登り海と親しむ。山からの恩恵と海からの恩恵を浴びながら、生涯の楽しみとして継続したいのです。

山と海は環境保全の両輪であり、豊かな森林を持つ山が豊かな海を育みます。私は子々孫々までこの豊かな環境を残してやりたいのです。豊かな環境そのものを資源とし、有効に活用する方策を考えてみました。

日本一美しいといわれている有明海を背景に自然と親しみ、それを背景にイベントが成長し、山・海の環境を意識するきっかけになれば幸いです。新幹線の開業も秒読みの段階に入っており、大都市とのアクセスも格段に良くなります。

九州の地は豊かな海岸線をもち、島、岬、港がたくさんあり、山頂からの眺めも素晴らしいものがあります。特に漁港は海岸線の長さで地形に恵まれ、大小あわせて九州全土で100以上あります。

しかし、漁業も後継者不足で、従事者も減少してきていると聞いております。そこで、漁港の一角を利用して九州全体を海洋レジャー基地とすることを提案したい。比較的低価格で使用料を徴収し、運営費に当てる。レジャー船舶の普及は、いま政府が進めている消費拡大に繋がり、運営に要する陣容の確保は多少なりとも失業者対策となるでしょう。

東京・横浜などの都心部では、入会金数百万円の他に年間の維持費が150万円にも及び、船舶の維持は中々大変と聞きます。中堅都市の魅力の一つとして、大都市では叶わない夢の地を実現できないのでしょうか。ハウステンボスの例もあり、抵抗感は少ないと思います。

東京、横浜、大阪あたりのオーナーが九州に艇を保管し、本人達は新

幹線或いは飛行機でセイリング、クルージングを楽しむ等という事も考えられます。いずれも地域に落とされる金額は相当なものと予想されます。

年間の維持費が 50 万円位ですと、ゴルフと大差なく、複数人で楽しめればゴルフより安上がりです。家族単位で楽しめる事なら更に結構だと思います。親子の断絶、家庭内会話の不足など、最近の事情を訴えている方々も居りますが、プレジャーボートでは乗り込むもの同士の連帯感是非常に高いものがあり、謙虚に自然に対峙することで、自然を大切に作る習慣が育まれるものと思われまます。

現存の施設を利用すると、わずかの追加設備で運用でき、投資効果を高められるので十分実現可能と考えられます。しかし、たくさんの方々の賛同が得られなければ実現は難しく、この鍵は女性が握っているものと考えます。

男性と比較して女性はグループ行動が多く、友達同士、恋人同士、家族、子供連れなど等、女性の動員効果は大きいといえましよう。コスト感覚に敏感で、繊細な女性に受け入れられないようでは、屋外レジャーの繁栄は覚束ないものと思われまます。女性の動員を促すためには設備に見合うコスト（割安感）、清潔なトイレ、清潔な環境が是非とも必要と考えまます。

「海から緑豊かな山を眺め、次回は山に登ろう。山から眼下に広がる豊かな海を眺め、次は水に親しもう」と、考える人大歓迎です。海と山・森林とはお互い密接な関係にあり我々の住環境を守るためには、これの保護に努めなければならないのです。この豊かな自然環境が疲れた都会から人を呼べる財産であることを具体化したいのです。

意識して緑・海岸を整備することは地域の環境美化にも役立ち、私たちの住環境も同時に向上する方策だと思います。そのためには単に港があるだけではなく、呼び物となる豊かな自然環境と、清潔な都市環境のほかに、九州を満喫できる宿泊・飲食の出来る環境が必要となりましよう。